

# 常任委員会審議内容

## 総務

●野洲市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例

問 第3条2項の特別の事情とは。

答 導入は原則公募。漁港、憩いの家など地域に密着した施設の指定は特別の事情と判断している。

問 政策上設置の施設の位置づけは。

答 行革推進の立場から民間運営できるものは民間で行う。

問 文体施設はどのようなのか。

答 文芸事業団に委託している施設は、現在の形の管理運営は出来ない。

い。9月の設管条例で明らかにしたい。

問 選定委員について。要綱などを設置して

対応。人選は公平、公正に判断できる人。

●野洲市個人情報保護条例の一部を改正する条例

問 職員の守秘義務の徹底は。

答 罰則規定を設定、全体研修、職場研修も義務付けられている。解雇運用の手引きなど作り直し徹底する。

●野洲市税条例の一部を改正する条例

●野洲市使用料条例の一部を改正する条例



新築されたコミセン「やす」

問 指定管理者導入後の使用料は。

答 コミセンなどは利用料金を含め、検討しているが、減免団体には負担をかけない方法を検討する。

●野洲市北桜財産区管理会条例の一部を改正する条例

●野洲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

●野洲市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

●平成17年度野洲市一般会計補正予算中、総務関係。

●損害賠償の額を定める

●野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

●野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

## 文教厚生

問 福祉医療助成対象者の医療機関での窓口支払については、重度心身障害者についてもどうか。

答 窓口で支払わなくてもよい方向で進めている。県外の医療機関診療については、償還払いになる。

問 昼間点灯運動の実施状況は。

答 参加しているが、全ての公用車で実施できてはいない。

●請願第5号

○「栗東駅」の建設の必要性、請願駅としての費用負担、市民への情報不足など種々の議論があった。負担額が妥当かどうかは今後議論する。駅の必要性を考えると、負担はするべきである。

以上意見が出され不採択。

●平成17年度野洲市一般会計補正予算中、文教厚生関係

●野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

●野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

●野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

## 文教厚生

問 窓口で支払わなくてもよい方向で進めている。県外の医療機関診療については、償還払いになる。

●平成17年度野洲市一般会計補正予算中、文教厚生関係

築について、夏休み中の対応はどうするのか。

答 現在教育委員会と学校、社会福祉協議会と協議している。

問 50数名の入所者は狭隘であるが、大丈夫なのか。

答 渡り廊下で別棟になく方法でつなぐ方法で進めている。遊具については、学校と協議して、新たな移転場所を考えている。

問 高齢者の筋肉トレーニングの必要性と、60万円の派遣賃金について。

答 高齢期を、健康で快適に過ごしてもらう。賃金については、理学療法士で、1回1万円60回分の賃金。

問 祇王幼稚園は、築何年で、改修部材については。

答 51年にできており、29年に及ぶ。一般住宅に使用されている屋根部材を使用する。

# 地域活性化 特別委員会

## 野洲駅前整備

これまでの経過としては、野洲駅前南口整備計画の策定を考慮しており今年度、Cブロックについては境界工事および段差

整地工事、Dブロックは土地利用計画の立案に必要な予算を計上。

## JR新駅設置

平成14年度に、野洲駅から篠原駅間の新駅設置の可能性を把握する目的で調査を実施された。それらを踏まえ今後の基本計画等策定時に検討する必要があります。

## JR篠原駅舎改築および駅周辺整備

本市、近江八幡市、竜



野洲駅前Dブロック

王町で構成している篠原駅周辺都市基盤整備促進協議会で、県・JRに対して要望活動を行なっている。

## JR琵琶湖線複々線化

守山市と組織するJR複々線化促進協議会と野洲市単独でJR県要望を実施している。

滋賀県知事、県土木交通部長に、市長、議長、

当特別委員会正・副委員長で、JR琵琶湖線「草津駅―野洲駅」間の複々線化、篠原駅の駅舎改築並びに「野洲駅―篠原駅」間の新駅構想についての要望活動を行なった。

# 防災環境福祉対策 特別委員会

地域防災計画の策定については、概ね年内の完成を目指し、7月頃には、県への一次案提出の予定である。

防災行政無線整備事業については、すでに国の補助金の内定を受けて、実施予定である。

地域防災計画をもとに、地域の状況を踏まえた地域の自主防災組織を作り、地域にあった行動計画、災害時の環境問題、災害弱者をはじめとする福祉の問題、災害発生時の学校関係の連絡体制、避難経路と誘導、備蓄関係な



避難所案内看板

ど、地域の中での行動計画を調査・研究していく必要がある。

野洲市には多くの外国人がおりることから、

災害時の情報提供を日本語だけでなく、外国語で表示できるのか、どのようにサポートしていくのか、調査・研究する必要がある。

また災害時における環境面として、ごみ処理対策、また福祉面として災害弱者対策を調査・研究していく。

## 大津湖南幹線道路

当路線は、新市の地域間連携軸としての主要道路として位置づけられている。滋賀県の事業として取り組んでいるが、用地買収から相当期間が経過はしているものの、整備がなかなか進まない状況である。

大きな懸案事項としては、①野洲川の架橋②比江自治会のルート決定③文化財調査の進捗遅延

特に事業費予算が確保されれば、有効的進捗が見込めるために、滋賀県への予算確保の要望活動を積極的に進めよう必要がある。

## 国道8号バイパス

平成12年に知事の都市計画決定がされ、バイパス・ルート沿線の関係自治体に事業概要と測量の承諾をいただく説明会を開催。

今後、測量の承諾が得られていない残り1自治会の対策委員会と協議を重ね、測量の早期承諾を得て、一日も早い事業着手を目指す。

特別委員会としては、

# 交通対策 特別委員会

野洲市域から琵琶湖大橋取付道路までの事業化を目指し、国道8号および県道野洲甲西線の朝夕の交通渋滞解消を望む。  
(仮称) 湖南東近江広域幹線道路  
県道野洲中主線の先線と位置づけ、新市交流連携の主要道路として、竜王インターチェンジおよび東近江地域へのアクセスを充実するため、滋賀県の道路整備事業として取り組んでいたべく、竜王町の広域で要望をしている。

しかし、滋賀県は道路整備アクションプログラムに取り上げていないなど消極的であるため、プログラムの見直しの際には、重要路線として取り扱うよう要望をしていく。



大津湖南幹線道路